

section

1

頻出質問とその質問の回答ポイントを極めよう！

公務員の面接試験がいくらコンピテンシー評価型とはいえ、すべて面接カードから質問されるわけではありません。当然、色々な角度から質問されるわけですが、受験生について知りたい部分は共通しているので、『**頻出質問**』というものも存在します。

この章ではそんな『**頻出質問**』に加え、『**回答ポイント**』もあわせて紹介しちゃいますね！一応、補足で説明しておきますが、面接カードに書いてあることは聞かれるのが当然ですので、それ以外の質問について解説していきます。



え～！
まだこれから面接の勉強（対策）しなきゃいけないの...
もう面接カードで疲れたよ～😞



この『**頻出質問&回答ポイント**』も超大事なんだ。
ココを乗り切ったら面接に必要な知識は覚えきったも同然！
ラストスパートだから頑張っていこう！

★★★★☆

1 「緊張していますか？」

【緊張していますか？】

- 緊張してますか？
- 今日の朝ご飯は何を食べましたか？
- 今日は何時ごろ起きましたか？
- ここまでどうやって来られましたか？等

このように公務員の面接試験では受験者の緊張を和らげる（レポート形成）ために、最初に「緊張していますか？」などの簡単な質問（前ページ参照）をしてもらえることが多いんですね。

まあ素直に自分の気持ちを話していただければと思いますが、最近ではストレス耐性が重要視されているということもあるので、ココでは『安定感』をアピールしてほしいなと思います。大袈裟な話ですが、緊張しすぎてブルブル震えているようじゃ良い印象は与えられません。普通におじさんおばさんと話すだけだと思って、落ち着いて気楽に会話していきましょう！

一応、「緊張していますか」という質問に対する私の回答を紹介しますね！

はい。普段は緊張しにくいのですが、本日は第一志望の面接試験ということもあって、少しだけ緊張しています。

これくらいの回答を落ち着いてサクッと言えたらOKかなと思います。この手の挨拶質問には『普段と同じく』というような形で回答すると『安定感』をアピールできると思います。

また、『面接官の皆様には失礼のないように』という相手を気遣うセリフを入れるのもアリですよ。まああまり考えすぎても急くなってしまうだけなので、変にアピールしようとせずにサクッと回答できればOKです！

面接官もレポートを形成するために、「では、本来のあなたが見たいので、リラックスして質問に答えて下さいね」などと言ってくれると思います。

では、皆さんの緊張も取れたところで、『頻出質問対策』始めていきましょうか！

【併願状況】

- 併願状況を教えてください
- 民間企業は受けてますか？
- 内定出したら他を辞退してウチに絶対に来てくれますか？等

公務員の面接試験では執拗に『併願状況』を聞いてくる場合があります。特に国家公務員の採用面接（各府省の面接）や特別区の区面接などでは、かなりしつこく聞かれることがあります。受験生の皆さんが思っている以上に、面接官というのは『本当に第一志望なのか？』『合格を出したらウチに来てくれるのか？』など、併願状況を気にしているんですね。

回答方法について、初めに言っておきますが、この手の質問には絶対に『嘘』をついてくださいね！嘘はダメって言ったり、嘘つけて言ったり、適当なことばかり言ってんなよって思いますよね(笑)

でも、併願状況に関しては『嘘(建前)』が絶対に必要なんです。前も言ったじゃないですか、『本音と建前』ってめんどくさいよって。社会に出るとすべて本音を話すわけにもいかないんですね。『第3志望です』『滑り止めです』...等、こんなセリフを言ってしまった日には一発不合格だと思ってください(汗)面接官にも失礼ですからね！

特に練習とかも含めてたくさん受験している方はもう一発嘘が必要です！例えば、国家総合職、特別区、国税専門官、国家一般職、県庁、市役所、おまけに警察や民間も受けてる。こんな方がどこかの面接を受けた時に全部正直に話してしまったら、「コイツのやりたいこ

とはなんだ?」「ウチもたくさん受験している受験先の1つなんだろうな〜」...等、やりたいことが何なのかや志望度の強さが全く伝わらないですよ!

じゃあ逆に専願(単願)をアピールしたほうが良いのかというと、これもまた違うんですね(汗)確かに志望度の強さは伝わりますが、「そんなリスクマネジメントも考えられないヤツと一緒に働きたくない」「ここ落ちたらどうするんだ?人生プラン的に大丈夫なの?」...等、良くない印象を与えてしまいます。さらに「コイツ嘘ついてるな...」と思われてしまったら最後です。

回答方法としては、なるべく本当のことを話すのがベストなのですが、なかなかそうもいきません。だから私は『**一貫性がある受験先を1つだけ言うように**』と受験生に教えています。

〇〇県庁が第一志望で、〇〇市の試験も受ける予定です。
民間企業は受けていません。

このように自分がやりたいこと(理想)を実現することが出来そうな、近い受験先を1つだけ併願先として挙げておく、これがベストな回答だと思います。民間と公務員で『**公務員の専願**』なら面接官も納得なので、公務員の中でも仕事内容や役割等で関連性のあるところを1つ(もしくは1つ以上)受けていると伝えていきましょう!

この『併願状況』の回答に失敗すると、非常にめんどくさいことになります。「何で〇〇を受けてるの?」「志望動機を教えてよ」「市役所の職員と警察官なんて仕事内容が全然違うと思うんだけど、なんで警察の試験を受けてるの?」...等、変に突っ込まれることがあります。この手の質問ってあり得ないくらいめんどくさくないですか?もちろん、きちんと答えることができればそれでOKなのですが、この手の会話に発展しないように『嘘(建前)』をついておくのが無難な選択だと思いますよ〜!

要は**受けたところすべてが第一志望**ということです。ちなみに、嘘をついてもバレることは基本的にありませんので、立派な社会人のように建前を使いこなしていきましょう！そもそも調べて受験生の併願先がわかるなら面接で聞かないですからね。

あと『併願状況』について私から1点皆さんに言いたいことがあります。すべて受けたところが第一志望というのは、面接の回答だけでなく、**今後の進路の分岐点においても言えること**ですよ！

真面目な皆さんはいくつもの受験先から内々定がもらえることでしょう。例えば、**国家一般職**と第一志望の**県庁**を受けてたとして、**県庁**の最終合格発表日の前に**国家一般職**から内々定をもらえたとします。そんな時、真面目過ぎる方は、面接官に正直に「**県庁**の最終合格発表がまだなので、待っていただけませんか？」と言ってしまいうんですね～。本当に**国家一般職**が第一志望なら待って欲しいなんて絶対に言いませんよね！

内々定の連絡をもらったら、「ありがとうございます。これからよろしくお願ひします」となるのが普通です。後で辞退するのは、しょうがないこと（可能）なので、最後まで第一志望は貫き通しましょう！だってこれまで合格目指して一生懸命公務員試験の対策を頑張ってきて、ようやく手に入れた内々定じゃないですか。そこであたふたして「では内々定の話はなかったことに…」なんて言われたら悔やんでも悔やみきれませんよ！だからこれから受験する皆さんには「**最後まで第一志望を貫く**」ということを意識してほしいなと思います。



とりあえず併願先については、嘘でも**関連性がある受験先を1つ**言えば良いんだね！
確かにその方が面接官も志望動機とか納得してくれやすいもんね！



うん！でも実は**内容より受験生の印象(雰囲気)の方が大事**なんだ！
「第一志望です」って言うのに目が泳いでたりすると目立つから本当に第一志望なんだ！！って感じを伝える演技力も必要だよ(笑)

★★★★☆

3 「なぜ民間でなく公務員なのか？」

【なぜ民間でなく公務員なのか】

- なぜ民間でなく公務員なんですか？
- なぜ公務員志望なんですか？
- 民間と公務員の違いを教えてください等

あ〜めんどくさい... 私はこの質問嫌いです(笑)でも、聞かれることが多いので絶対に用意しておかなければいけません！この手の質問の回答ポイントはこの2つです。

【Point💡】

- ①民間と公務員の『役割の違い』をきちんと理解する
- ②私の考えていること(理想)と公務員の役割がマッチしている伝える

本書でもさんざん言ってきましたが、重要なのは『役割』を理解していることです。面接官も「コイツは公務員の役割がきちんと理解できているのかな？」という部分をチェックしたいので、この質問をするんですね！

言っではいけないのは「勤務条件」や「民間を否定する言動」です！公務員が民間より良いなんて回答は求めていません。「民間企業は～(役割)、公務員は～(役割)、それぞれ魅力があるけど、私は国民一人ひとりが安心して暮らすことができるような社会を作りたい、支えていきたいと思ったので公務員」...等、役割の違いに注目して、自分がやりたいこと(理想)は公務員の役割とマッチしているよと繋げましょう。

また、エピソードで話を強調する場合、「父親が民間企業で働いていて、母親は公務員で～」などと、なるべく身近な例を挙げて話しをすると説得力が増しますよね！

民間と公務員の違いについて、参考程度に私の考えを載せておきます。

【民間と公務員の違い(私の考え)】

- ①公務員は利益追求の重要性が低い
→ 長期的に行政サービスを運営できる
- ②公務員は仕事・部署の幅が広い
→ 色々な分野で活躍・勉強できる
- ③民間と民間の仲介役
→ 公務員が主導になり仕事を動かせる
- ④民間は企業のため、公務員は社会全体のために働くイメージ

★★★★☆

4 「なぜ国家(地方)ではなく地方(国家)なのか？」

【なぜ国家(地方)でなく地方(国家)なのか】

- なぜ国家公務員でなく地方公務員なんですか？
- なぜ県庁でなく市役所なんですか？
- なぜウ干なんですか？等

これらもめんどくさい質問ですよ～！でも、ポイントは先ほどの『なぜ民間でなく公務員なのか』と同じです！公務員というくりの中でも、国家公務員や地方公務員、さらには労働局の職員、国税専門官、県の職員、市の職員...等、それぞれに『**役割**』があります。この『**役割**』という部分を意識しつつ、自分が挑戦したい仕事や興味のある

る仕事などを絡めて、志望動機として話していくと面接官も納得してくれやすいです。

- (1)なぜ民間じゃなくて公務員なのか
- (2)公務員の中でもなぜ地方(国家)なのか
- (3)数ある自治体(省庁)の中でもなぜウチなのか

...と、上記のようなステップでどんどん詰めて(自己分析して)いき、これら3つの回答はすべて用意しておけば、志望動機関係の質問で困ることはないでしょう。

仮に「県庁ではなくなぜウチの市役所なのか?」と聞かれた場合、『県の役割と市の役割を踏まえたくて、私の達成したいことは市のやり方とマッチしているよ』と伝えるのがベストとなります。

私は仕事を通して～(理想)を実現させたい!(抽象的な主張) 県の〇〇の政策は～で、～なこと(役割)が出来、市の〇〇の政策は～で、～なこと(役割)が出来る。どちらも魅力があるが、私はこの仕事を通して～なことがしたいと思っているので、△△市の職員として、故郷であるこの市のために貢献していきたい。

さわりの部分はこんな感じで話してもらえればと思います。なぜウチの市役所なのかという部分については、オリジナルの『志望動機』を話していけば納得してもらえらるでしょう。



志望動機関係の質問には『オリジナルエピソード(きっかけ)』と『役割』を意識して解答するのが大事なことだね!
加えて間接的な『やる気』を伝えられれば完璧なことだ!



お～!ネコ君もわかってきたね😊
できれば「民間と公務員」「国・地方」「その中でもなぜウチなのか」、この3つの志望動機はそれぞれ用意しておきたいところ!

5 「ストレス解消法」

【ストレス解消法】

- ストレス解消法を教えてください
- あなたはこういったタイミングでストレスがたまりますか？
- ストレスには強い方ですか？等

住民とのやり取り、組織ならではの人間関係、異動に伴う環境変化…等、公務員の皆さんは様々なストレスとうまく付き合いながら生活しているんですね。

さらに最近はうつ病等のメンタル病休者数も増えてきてしまっていますから、ストレス耐性は厳しくチェックされています。逆に考えると、ストレス耐性をアピールできれば評価も高いということになりますよね！是非ともこの項目はうまくアピールしていきたいところ！ということでポイントを紹介していきます！

【Point💡】

- ①なるべく1人で・毎日できる趣味等を解消法としてアピール！
- ②実体験を付け加えると説得力◎

ストレスっていつ、どのタイミングでたまるかわからないですよね？急に残業になるかもしれない、仕事でミスして上司に怒られちゃうかもしれない等、公務員として生活していると色々なタイミングでストレスが溜まると思います。人間なのでストレスが溜まってしまうのはしょうがないこと、大事なものはストレスにも負けない体力・精神

力があるかないかです！まあなくてももうまくアピールしなきゃダメですけどね(笑)

そこでポイント1！なるべく1人で・毎日できる趣味やストレス解消法をチョイスすることで、次の日にはリフレッシュ出来ているんだなと面接官に思わせることができます。ストレスがたまっても、その都度解消できる『メンタル強さ』をアピールしていきましょう。

そして、2つ目のポイントですが、こちらも超重要！「ストレスを感じていた事実+どう工夫して解消していたか」という部分をベースに、自分のオリジナルのエピソードを用意しちゃいましょう！

オススメのフレーズは、『私も人並みにストレスは感じることはありましたが』です！ストレスは感じてるけど、感じやすいわけでもなく、といった絶妙なバランスで面接官に伝わります(笑)この後に実際に行っているストレス解消法を述べて、面接官に『コイツは社会に出てもストレスに耐えられそうだな』って思わせれば勝ちです！

例えば1つ目のポイントを無視した「旅行」というネタでも、言い方次第でうまく伝わったりします。実際に回答例を紹介しますね！

私のストレス解消法は旅行に行くことです。接客業のアルバイトや卒業研究等、私生活の中で私も人並みにストレスを感じることはありましたが、1週間に1回ほど、手軽に行ける観光地へ足を運び、綺麗な自然を見たり、おいしいものを食べたりと、心も体もリフレッシュさせて月曜日を迎えるようにしていました。

どうでしょうか。この回答を聞くと「コイツなら大丈夫そうだな」って思いませんか？大事なのはストレス解消法の中身ではなく、面接官に大丈夫だと思わせることなので、簡単なエピソードで『ストレス耐性』をアピールしていきましょう！